

# 復興研究会報告

## NO.25(令和元年度 第1号)

発行  
岩手県立大槌高等学校  
復興研究会・O A部  
発行日  
令和元年5月29日

## 今年度第1回定点観測

5月18・19日 今年度第1回の定点観測が行われました。

参加した皆さんの声をご紹介します。



2日間参加しました。水門の撮影の際に、いつもとは違うところで撮影したのが楽しかったです。町方の撮影では、駅が完成したところを撮影できたので良かったです。今回の撮影では駅周辺での変化を特に感じました。(3年女子)



水門の上に道路が出来ることを初めて知りました。大槌の復興の進行具合がわかるとても良い機会になりました。(3年男子)

1日目の事前学習で今までの定点観測の様子だったり、たくさんの方々がこの活動に関わって下さっていることが分かりました。今までの観測記録や定点観測の動画を見て町の変化を比較することが出来て面白かったし、復興が進むのを見て、たくさんの方が大槌のために頑張っておられることを実感し改めて感謝しました。(3年女子)



初めて写真を撮影してみても、震災前や震災後すぐの写真とくらべてみて、工事をしている場所が減り、家や駅が新しくなっていたりして、たくさんの変化が見られました。これからも大槌の復興を写真に収めたいです。(1年女子)



## 防災フォーラム東京参加者来校

5月23日に東京都で行われた防災フォーラム会議に参加された海外都市首長及び防災担当責任者6名と東京都職員3名など合計12名の方が本校の復興研究会との意見交換を行うために来校しました。

参加した皆さんの声を紹介します。



日本と外国の意識の違いを改めて認識し、見習っていくべきだと感じました。津波とハリケーンでは対策の違いはあるものの復興に対する気持ちは通じるところがあるのだと感じました。(3年女子)

以前と同じく通訳を通してではありますが、自分の言っていることが伝わっているだろうかと不安に思いながらプレゼンをしました。最初は、緊張していましたが、終盤ではお互いに冗談を言い合うなど和気あいあいとしていました。(3年女子)

### 復興研究会の報告の様子

